

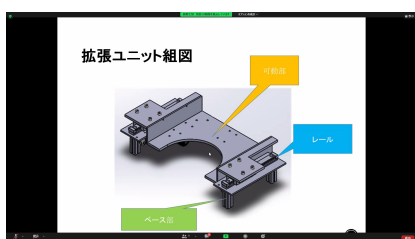
実践教育研究発表会 2021

2021. 8. 21

大会テーマ 「ニューノーマル時代のものづくり・ひとづくり」

2021年度の実践教育研究発表会（オンライン大会）が8月21日、一日のみの日程で厚生労働省、高齢・障害・求職者雇用支援機構の後援で開催されました。今大会もコロナ禍の関係で、オンラインでの大会となりましたが、「ニューノーマル時代のものづくり・ひとづくり」を大会テーマに掲げ、大会運営委員会および実行委員会によりいろいろな企画が準備されました。一日のみの会期でしたが、延べ200名余りの参加者により発表や討議、情報交換が行われました。以下、今大会の内容を報告します。

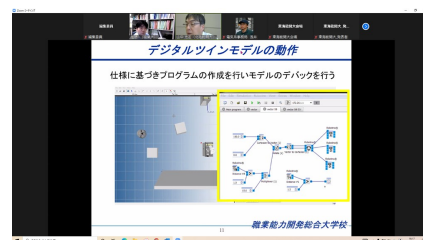
3系共同の企画である特別講演は、今大会も行われませんでした。



一般講演の様子（その1）



一般講演の様子（その2）



一般講演の様子（その3）

各専門部の企画がそれぞれ行われました。

機械系企画Ⅰでは「学会機械系を支える賛助会員の活動状況」というテーマでシンポジウムが行われました。シンポジウムでは、機械系賛助会員の企業13社より取り扱っている機器や教材の紹介などがありました。機械系企画Ⅱでは第3回実践加工技量チャレンジカップの審査結果発表、講評、表彰式などが行われました。機械系企画Ⅲでは、機械系ジャーナル賞「辻 茂賞」の受賞者発表などが行われました。

電気・電子・情報系においては、系企画Ⅰでは第1回ものづくりコンペ（テーマ「マイコンを使用した生活を便利にするもの、豊かにするもの」）の結果発表、優勝者と準優勝者のプレゼンテーションが行われました。系企画Ⅱでは、金沢大学理工研究域電子情報通信学系教授である秋田純一氏の「多様な学生の教材としてのプロトタイピング用マイコンボードの可能性」というテーマでの講演が行われました。系企画Ⅲでは、賛助会員企業から電気電子情報系分野の技術紹介が行われました。

建築・デザイン系では、第4回建築設計競技（テーマ「リモートワーク住宅」）の表彰式および入賞者のプレゼンテーションなどが行われました。

一般講演では72件（機械系25件、電気・電子・情報系22件、建築・デザイン系11件、能力開発分科会14件）の発表がありました。ポスターセッションは今大会でも行われませんでした。

オンラインではありましたが、地方や遠方からでも参加できることからか、各会場（ミーティング）への参加者が昨年同様多く、先進的、また興味を引く発表や活発な討論が行われていました。

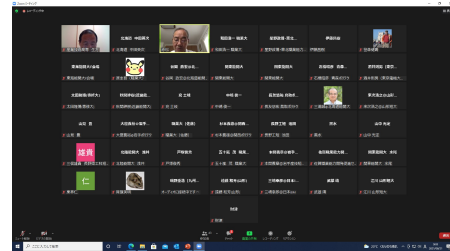
企業展示、全体交流会は、今大会でも行われませんでした。



一般講演の様子（その4）



機械系企画Ⅰの様子



通常総会の様子